

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第2回吉川市水道運営委員会
開 催 日 時	令和5年7月28日（金） 午後2時00分から 午後3時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所304・305会議室
出席委員（者）氏名	（市議会）小野潔委員 （使用者）飯塚貴利会長、阿部照義委員、中島眞由美委員、 番場勇貴委員、平塚史子委員 （有識者）木暮昭彦委員、大泉將平委員
欠席委員（者）氏名	宇野二郎副会長、中島のり子委員、邨田茂委員
（事務局） 担当課職員職氏名	吉川市長 中原恵人 水道課長兼水道技術管理者 秋谷裕司 庶務係長 大滝利和、施設係長 村上飛鳥 庶務係 山崎真由美、野澤文彌、専門調整幹 岡田和也
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	【次第】 1 開 会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議 事 （1）令和4年度吉川市水道事業会計決算（案）について （2）今後10年間の事業見込について （3）その他 5 閉 会 【公開・非公開】公開
非公開の理由 （会議を非公開に した場合）	
傍 聴 者 の 数	1名

会議資料の名称	令和4年度吉川市水道事業会計決算書（案） 今後10年間の事業見込について 令和4年度吉川市水道事業会計決算の概要について 吉川市水道運営委員会名簿 令和5年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	中島眞由美委員、木暮委員
その他の必要事項	
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
事務局	1 開会 会議は公開となることを報告する。
会長	2 会長あいさつ
事務局	運営委員会定員11名のうち8名が出席し会議は成立、傍聴者が1名いることを報告。 会議資料、次第、資料一覧、令和5年度会議予定表、委員名簿を確認。 議事進行を飯塚会長に依頼。
	3 市長あいさつ（公務都合により省略）
会長	4 議事 会議録について、録音機器を用いた要点記録とし、中島委員と木暮委員を署名委員に指名する。
事務局	(1) 令和4年度吉川市水道事業会計決算について 令和4年度吉川市水道事業会計決算の概要に基づき、説明。
木暮委員	【意見・質疑等】 資本的支出の建設改良費について、材料調達費の高騰など社会状況の影響があるとは思いますが、事業ベースとしては計画通りに進んでいるのか。
事務局	設備改良費に年度により波があるが、事業は順調に進んでいる。

木暮委員	配水管の耐震管への更新とあるが、主な工事に記載はないがどうなのか。
事務局	主が石綿管布設替工事なので配水管布設工事の記載はないが、既存の黒ポリ管を耐震性のある PE 管に更新している。
木暮委員	配水管布設事業の推進で、末端配水管の整備を行い給水不良等への対策を実施したとあるが、内容を教えてほしい。
事務局	ポリ管が内面剥離し、給水不良を起こしている箇所の修繕等を実施したものである。
木暮委員	末端配水管の整備も行っているのか。
事務局	配水管の先にある私設連合管の漏水が多いため、その更新に費用負担している。
小野委員	石綿管布設工事を推進しているが、今年度はどこの箇所を本復旧するのか。
事務局	吉川駅前からさくら通りの北側ブロックの舗装を予定している。
木暮委員	今年度は水道フェスティバルを行うのか。また、過去の水道フェスティバルではどのようなことを行ったのか。
事務局	今年度は、検討中である。 過去のフェスティバルでは、耐震管の模型展示や給水車から応急給水しリュック型の給水袋を背負う体験、水道水とボトル水の味比べ、給水管の模型を作り漏水した箇所の補修を体験してもらった。 近隣の小学校にビラを配り、100 名程度の来場があった。
会長 事務局	(2) 今後 10 年間の事業見込について パワーポイントで「今後 10 年間の事業見込について」、説明。 【意見・質疑等】
番場委員	井戸を廃止した後は、その井戸はどうするのか。
事務局	浄水場内の井戸 2 本については、災害時に生活用水として利用できるか検討中である。その他の井戸は、埋め殺しになる。

市 長	井戸の内部はどうなっているのか。
事 務 局	<p>地下 250 メートルまでは穴が開いた管が入っており、地下水で満たされている。ポンプは約 50 メートルのところから汲み上げている。</p> <p>廃止の際は、撤去というより中に砂と細い管を詰めて蓋をすることになる。</p>
木暮委員	今後、県水 100%を予定しているが、県水圧力の有効活用等を県に要望したらどうか。
事 務 局	災害時等の緊急時には直送給水が可能である。常時となると現状は難しいとのことであるが、連携を密にし、協議していきたいと考えている。
小野委員	<p>現状では企業債を借りないと令和 7 年度には内部留保資金が枯渇するという理解でよいか。</p> <p>内部留保資金の適正な水準とはどれくらいか。</p> <p>企業債残高対給水収益について、草加市と吉川の料金は同じくらいの水準であるが、なぜ、この指標が 30%と極端に低いのか。(わかれば)</p>
事 務 局	<p>9 ページの内部留保資金のグラフは、現状のまま(企業債を借りない場合)でいくと令和 7 年度には内部留保金が枯渇すると予測している。</p> <p>10 ページのグラフは、今後、企業債を目いっぱい借りても建設投資額の方が上回り令和 14 年度には資金が枯渇することを示しており、料金改定が必要と考えている。</p> <p>内部留保資金の適正な水準は、最低、給水収益程度と言われているが、吉川の場合、区画整理による受贈財産も多いことから、この水準よりも多くの資金を確保しないと施設の更新や災害時等の対応が難しいと考えている。具体的な目安は次回に示させていただく。</p> <p>草加市の企業債残高対給水収益の割合が低いのは、これまでの更新需要等が少なく、内部留保資金で対応できていたからと推測できる。</p>
会 長 事 務 局	<p>(3)その他について</p> <p>令和 3 年度第 3 回運営委員会において、小学生向けの動画を作成予定であると伝えていたが、この度、完成したので披露する。</p> <p>この動画は、栄小学校の浄水場見学時にも上映している。</p> <p>【意見・質疑等】 質疑なし</p>

(議事を終了し、会長が議長の任を解かれる。)

市長あいさつ

事務局 5 閉会

以上で終了。

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和5年8月30日

署名委員 中島 眞由美 (自署) 署名委員 木暮 昭彦 (自署)